



翼



「頑張る」ということ

校長 辻 康一

中学生になって、または新しい学年に進級して、約1か月が経ちました。年度の初めには決意を新たにし、自分なりの目標を立てた人も多いのではないのでしょうか。「勉強を頑張る」「部活を頑張る」「提出物が遅れないように頑張る」「テストだから頑張るなさい」「よし、今日は頑張るぞ」このように、私たちの周りでは「頑張る」という言葉をよく耳にします。ただ、この「頑張る」という言葉は、とてもあいまいです。夜寝る前に「今日は頑張ったかな」と振り返ってみてください。どうやったら「勉強を頑張った」「部活を頑張った」といえるのでしょうか？ そもそも「頑張る」とは、どういうことを言うのでしょうか？

いろいろな考え方があるでしょうが、私なりの考えを以下に示してみます。

私が中学生のころの話です。私が通っていた中学校はバレーボールが強く、先輩たちは全国優勝を成し遂げ、私たちの代も日本一を目指して毎日練習に励んでいました。それこそ昭和の昔の話ですから、部活動に時間の制限はなく、朝は6時半から、夕方は授業が終わってから夜の弁当を食べて、9時近くまで練習が続く毎日でした。もちろん、普通の中学生の楽しみも知らず、宿題さえもできるかどうかという状態です。テレビも、ほぼ見たことはありませんでした。そんな毎日の中で監督の先生は次のように話されました。

「君たちは、毎日練習を頑張っていると思うかもしれないが、それは『頑張り』ではない。自分が『もうだめだ、一歩も動けない』という極限状態になったとき次に出す一歩を『頑張り』というのだ」と。

たくさん受けた教えの中でも、この言葉が心に強く残りました。たとえば、スポーツだけでなく、勉強にしても「ああ、今日はたくさんやった。だから、もう今日はここまでにしよう」と思った次の1問、「もう眠い。今日は限界だ」と思った次の1ページ。そうして、プラスアルファを生み出し、今までの自分を越えていくこと、それを「頑張り」というのだと思います。そう考えると「頑張る」ことはなかなか簡単なことではありません。

また、目標ということ言えば、【テストで80点以上を取る】【試合に勝つ】【都大会に出場する】という目標を立てる人がいますが、80点を取るのではなく、80点を取るために、何を頑張るのか？ 試合に勝つためには何ができるようになる必要があるのか、という具体的な方法や到達点をはっきりとさせるべきです。

さあ、これから運動会や部活動の試合などが行われ、また来月には定期考査が控えています。

みなさん、「**頑張って**」みましょう。

■令和8年度の着任者から～よろしくお願ひします

◆練馬区立石神井中学校より異動してまいりました、副校長の日座正太です。教科は英語科で、部活動はずっとソフトテニス部の顧問をしてきました。副校長に昇任し、生徒と直接関わる機会が少なくなっていましたので、自分から積極的に生徒に挨拶や声掛けをしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(日座正太)

◆ 武蔵野市立第一中学校から参りました、第一学年所属、保健体育科の市川愛弓です。元気な一年生に負けな
いよう、私もひばりが丘中学校でフレッシュに頑張ります。まずは、5月の運動会！クラス、学年、学校の力
が発揮され、素晴らしい運動会になるよう、生徒たちを支え、運動会を成功させます。お楽しみに☆
(市川愛弓)

◆ 瑞穂町立瑞穂第二中学校より参りました、家庭科の結城 遥です。新しい環境に身が引き締まる思いですが、
生徒の皆さんと家族・家庭生活や衣食住、消費生活・環境の学びを通じ、自立と共生を目指して生活を豊かに彩
る楽しさを共有していきたいです。一日も早く、ひばりが丘中学校に馴染めるよう努めます。どうぞよろしくお
願いいたします。(結城遥)

◆ 立川市立立川第七中学校から参りました、第一学年所属、社会科の町田健吾です。地理で世界の人々の生活
を知り、歴史で日本の成り立ちを知ります。今の日本が平和であることに感謝し、自分は将来どのように関わ
っていききたいかを、ともに楽しく考えましょう。(町田健吾)

◆ 中野区立明和中学校から参りました、数学科の遠藤泰紀です。数学の学習を通じて論理的に考える力や数学
的に表現する力を育てていきたいと思っています。よろしく願いいたします。(遠藤泰紀)

◆ 3 学年副担任・社会科の馬野友之です。歴史や公民の授業を通じて、世界と自分をつなぐ「問い」を考え続
ける力を育てていきたいと思っています。進路という大切な場面で生徒たちに寄り添い、ともに歩んでまいり
ます。どうぞよろしく願いいたします。(馬野友之)

◆ 立川市立西砂小学校から異動してきました、養護教諭の阿部大樹です。看護師や特別支援学校での経験を活
かし、皆さんが目標に挑戦し自己実現できるよう、心身の健康を後押ししていきます。スポーツやライブが好
きです。いつでも気軽に保健室へ来てくださいね。(阿部大樹)

◆ 新宿区立新宿中学校より異動してきました、2年C組担任・数学科の青木俊輔です。一日でも早くひばりが丘
中学校での生活に慣れ、授業や行事、部活動などを通して、生徒一人一人とたくさん話ができることを楽しみに
しています。これからよろしく願いいたします。(青木俊輔)

◆ 隣の田無第二中学校から参りました。保健体育科の京極紗希と申します。まずは元気なあいさつから！生徒
とのコミュニケーションを大切に、一緒に成長していきます。よろしく願いします。(京極紗希)

◆ 第一学年副担任の石川大貴(ひろき)と申します。教科は英語を担当します。一日でも早く先生という職業
に慣れることを目標に、みんなと一緒に成長していきます。よろしく願いします。(石川大貴)

◆ 2 学年の副担任の小池柊弥と申します。教科は理科です。今年の3月まで大学生をしていました。中学高校
6年間水泳部に所属していました。1回1回の授業を大切にしていきます。どうぞよろしく願いいたしま
す。(小池柊弥)

◆ IJ 学級の中嶋亮介と申します。教科は社会科です。生徒一人ひとりと向き合って、学校生活が豊かになるよ
うに支えていきたいと思います。よろしく願いいたします。(中嶋亮介)



着任式(4月6日)

■各学年の経営方針～保護者の方のご協力、ご支援をどうかよろしくお願いいたします。

《一学年経営方針》 学年主任 主任教諭 関隆史

中学校生活のすべての基盤である「基本的な生活習慣の確立と何事にもメリハリつけて取り組む姿勢（けじめ）」をつくっていく。また、「自分を大切に、周りの人も大切にし、いじめは絶対にしない（思いやり）」気持ちをもった学年をつくっていく。

けじめについて、

- ①あいさつができる。②時間を守ることができる。③身だしなみや身の回りを整えることができる。
- ④何事にもメリハリをつけて粘り強く取り組むことができる。

思いやりについて、

- ①自分を大切に、そして周りの人も大切にできる。②いじめは絶対にしない。

《二学年経営方針》 学年主任 主幹教諭 伊藤大

第2学年目標 「根気と責任」

どんな生徒も絶対に見捨てない、「教育に対する熱い情熱」と「生徒に対する深い愛情」をもち、学年全員で支援し、何事にも主体的に粘り強く取り組み、行動していく「たくましい」生徒を育成する。そのためにも、中学校生活にも慣れ上級生となった今、「何事にもねばり強く取り組む姿勢（根気）」と「どんなことも最後までやり抜く姿勢（責任）」を上級生として行動と態度で示していける学年をつくる。

根気…1年次で築いてきた「けじめ」と「思いやり」をだらせることなく根気強く続けていき、学習・行事・部活動・委員会活動等を粘り強く取り組むことができる生徒を育成する。

責任…どんなことにも最後までやり抜くことができる生徒を育成する。

《三学年経営方針》 学年主任 主任教諭 加瀬真実

第3学年目標 「自主・自律」

① 自ら考え、主体的に動ける集団

中学校生活最後の1年間、ひばりが丘中学校で代々受け継がれてきた「主体的に行動できる生徒」の姿を実現する集団づくりを行う。

② 他者と調和し、多様な価値観を認め合える集団

これまでの様々な経験から、より一層お互いを思いやり、多様な価値観を認め合える集団を作っていく。

③ 最高学年として何事にも真剣に全力で取り組む集団

学校生活や行事、部活動などで後輩の手本となるよう、全力で取り組む姿勢を大切にする。

《IJ学級の経営方針》 学級主任 主任教諭 山本達也

「一人一人の能力や可能性を最大限伸ばし将来の自立した社会生活につながる生きる力を育てる」

I学級：健康でしなやかな体をつくり、基本的な生活習慣を確立し、自律した生活を送る力を育てる。また基礎学力をつけ、自分で考えて行動する力を伸ばし、多様な学習と経験で豊かな心を育てる。さらに人間関係、集団参加、社会参加をふまえ社会性を伸ばし、自尊感情を高め進路選択につなげる。

J学級：人間関係や集団参加の基本を身につける中で自己の課題をとらえさせ、自己コントロールの力を伸ばし、自律した生活を送る力をつける。また個に応じて学力を伸ばし、理解力、表現力を高め、しなやかなで強い心と体を育てる。さらに多様な学習と経験により適応力と自尊感情を高め、進路選択につなげる。